

石巻市公共施設等総合管理計画(概要)

平成28年3月策定

石巻市を取り巻く状況

本市の特殊事情

- ① 震災による人口減少の加速化や地域人口の変化
- ② 復興事業の実施に伴う通常事業の遅れ
- ③ 復興計画に伴う、新規事業の増加

人口と財政状況の見通し

- ① 急速な人口減少や少子高齢化等の変化
- ② 地方交付税等の歳入減少
- ③ 厳しさを増す財政運営

国・県の動向及び社会情勢の変化

- ① 国土強靱化に向けた災害に強い公共施設づくり
- ② 集中復興期間の終了と行財政改革の推進
- ③ 地方創生への取り組み

市民アンケートの回答

- ① 施設の多機能化や市民サービスの維持の意向
- ② 将来に備えた計画的な更新の実施を望む

計画実現のための財源確保と計画の見直し

- (1) 膨大な事業実施に向けた財源確保
- (2) 国・県事業の実実施要請
- (3) 復興後の計画見直しの検討

フォローアップの実施

確実な計画実行に向け、毎年度、類型別の進行管理を実施

公共施設等の現状と課題

ハコモノ施設の現状と課題

現状

666施設
817,024㎡

課題

- ✓ 適正総量の検討
- ✓ 老朽化対策の推進
- ✓ 適正な維持管理の推進
- ✓ 用途廃止施設への対応

インフラ施設の現状と課題

現状

道路総延長: 2,084km
橋梁: 1,082橋
公共下水道普及率: 61%

課題

- ✓ 新規整備の推進
- ✓ 安全の確保と計画的な修繕の推進

将来更新費用の推計結果(40年間の推計)

推計費用

年平均117億円
工事費等実績の約2.3倍

課題

- ✓ 財源不足の解消に向けた総量縮減
- ✓ 将来の特定時期に集中する更新費用の平準化

(注)ハコモノ施設、下水道普及率は平成26年度末、道路及び橋梁は平成25年度末の値です。

公共施設等総合管理計画 (計画期間:40年間(H28~H67)) (取組体制:石巻市行財政改革推進本部)

【計画の全体方針】

災害に強い公共施設づくりの推進

● 災害対応を念頭に置いた施設管理

ハード整備とソフト事業を組み合わせ、公共施設を長く賢く使用し、災害時には被害を最小限に抑え、機能する公共施設づくりの推進

ハコモノ施設の今後のあり方

● 総量の縮減を進めます

『今後40年間で20%・約15万㎡の延床面積の総量縮減』

● 安全の確保に努めます

施設の老朽劣化・損傷への適切な対応による事故の防止

● 最適配置の実現に努めます

施設の集約化・複合化・用途変更を進め、適切なサービスを提供

インフラ施設の今後のあり方

● 維持管理費用の削減に努めます

予防保全型維持管理の推進、長寿命化の推進

● 安全の確保に努めます

点検診断等の適切な実施、修繕及び更新の計画的な実施

● 計画的な新規整備を推進します

維持管理費用の削減等による財源の確保を図りつつ、利用見込みを踏まえた新規整備

公共施設等の管理に関する基本的な考え方

点検診断等の実施方針

- ① 施設状況や地域性等を勘案した点検診断等の実施
- ② 災害時の緊急点検(避難所・避難用道路等を優先)の実施
- ③ インフラ施設は国等の各種点検指針を遵守
- ④ 点検診断等実施結果の情報共有と記録化の推進

維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ① 予防保全型の維持管理への転換と費用の低減化
- ② 再配置計画等に基づく大規模修繕及び更新の実施
- ③ 更新時において施設の集約化やPPP/PFIの活用を検討
- ④ インフラ施設は長寿命化計画に基づき修繕・更新を実施

安全確保の実施方針

- ① 点検診断等の結果に基づく速やかな安全確保
- ② 用途廃止した施設の解体撤去の推進
- ③ 類似施設等で発生した事故等に即応した安全確保
- ④ 市民・利用者への安全確保対策の情報提供と情報公開の推進

耐震化の実施方針

- ① 国の耐震基準に基づく耐震化の実施
- ② 耐震化未了の施設は廃止や解体の方針を踏まえて対応

長寿命化の実施方針

- ① ハコモノ施設は長期的な必要性等を踏まえて実施
- ② インフラ施設は各長寿命化計画に基づき実施

統合や廃止の推進方針

- ① 老朽化や利用状況等を踏まえた適正配置の検討
- ② 類似施設の集約化や複合化の推進
- ③ 未利用施設の転用や解体、跡地の有効活用
- ④ 住民への説明と協力の確保

公共施設(ハコモノ)施設

行政庁舎

(市役所本庁舎・各総合支所・各支所)

- 施設の長寿命化の推進
- 防災機能の強化
- 執務室の再構築を見据えたスペースの有効活用

防災施設

(消防署・消防団詰所・津波避難タワー等)

- 消防分団等の再編に伴う消防施設等の再配置を総合的に推進
- 緊急時を念頭に置いた諸設備を含めた適正管理の実施

集会所・地域コミュニティ施設

(コミュニティセンター・老人憩の家・生活センター等)

- 地域バランスを考慮した再配置の検討
- 長期利用予定施設の計画的な修繕による長寿命化の推進
- 集会所は各地域団体への無償譲渡を推進

衛生施設

(斎場・霊園・クリーンセンター等)

- 斎場は利用実態を踏まえて統廃合を計画的に推進
- 霊園は使用者の理解を得ながらの管理料徴収を検討
- ごみ処理施設は長寿命化及び適切な維持管理の推進

保健・福祉施設

(保健センター・老人福祉センター・保育所等)

- 人口減少を見据えた集約化による統廃合の推進
- 保育所再配置計画の見直しによる効率的な配置の推進
- 長期利用予定施設の計画的な修繕による長寿命化の推進

産業関連施設

(労働会館・水産物地方卸売市場・堆肥センター等)

- 長寿命化の必要性を踏まえて更新や統廃合等を検討
- 維持管理費の抑制、産業振興のための施設の有効利用を促進
- 指定管理者制度の活用による効率的な維持管理の推進

観光施設

(石ノ森萬画館・道の駅・観光物産交流施設等)

- 既存施設の活用策の見直し、多機能化を含めた有効活用の推進
- 長期利用予定施設の計画的な修繕による長寿命化の推進
- 指定管理者制度の活用による効率的な維持管理の推進

公営住宅

(市営住宅・勤労者住宅・復興住宅等)

- 適正戸数の把握による各種住宅計画の見直し
- 老朽化や空室状況を踏まえた統廃合や長寿命化の推進
- 計画的な管理体制による適切な維持管理の推進

医療施設

(病院・診療所・夜間救急センター等)

- 県の地域医療構想を踏まえた病院等の改革の推進
- 維持管理費の抑制、計画的な修繕による長寿命化の推進

学校教育施設

(小中高等学校・幼稚園・学校給食センター等)

- 人口動態を踏まえた学区再編計画策定、再配置や統廃合の推進
- 児童・生徒の安全確保を図るための適切な点検診断の実施
- 長期利用予定施設の計画的な修繕による長寿命化の推進

社会教育施設

(公民館・図書館・文化交流館・民俗資料館等)

- 利用状況や利用実態を踏まえた施設機能の移転や統廃合の検討
- 不特定多数の利用者を念頭に置いた安全確保の実施
- 長期利用予定施設の計画的な修繕による長寿命化の推進

体育施設

(運動公園・総合体育館・武道館・プール施設等)

- 屋内体育施設は必要数と適正配置の検討、長寿命化の推進
- 屋外体育施設は応急仮設住宅撤去後の整備、適正管理の検討
- 点検診断を踏まえた、計画的な修繕と安全確保の推進

インフラ系ハコモノ施設

(公園ハコモノ施設・浄化センター・排水ポンプ場等)

- 公園施設は計画的な長寿命化の推進
- 下水道処理施設は適正な維持管理や長寿命化の推進
- 雨水排水処理施設は雨水排水計画に基づく管理・整備の推進

その他公共施設

(資材倉庫・通学バス待合所・用途廃止施設等)

- 用途廃止施設の建物解体と跡地の有効活用等の推進
- その他の公共施設についても適切な維持管理の推進

インフラ施設

道路

(道路・橋梁・トンネル)

- 災害復旧工事及び今後の道路整備などの計画的な実施
- 国の点検マニュアル等に基づいた点検診断や長寿命化の推進

河川

(準用河川)

- 豪雨時の災害防止のため、安全点検と維持管理の実施

公園

(都市公園・農村公園等)

- 国の点検マニュアル等に基づいた点検診断や長寿命化の推進
- 危険箇所と認められた公園施設に対する速やかな対応

下水道

(公共下水道・農業集落排水・漁業集落排水)

- 災害復旧工事及び今後の下水道整備などの計画的な実施
- 計画的な修繕による長寿命化の推進

漁港施設

(防波堤・岸壁・船揚場等)

- 災害復旧工事による機能の回復
- 適正な維持管理及び計画的な修繕の実施

【解説】 類型別基本方針の見方

本市が定義した公共施設等の用途分類(大分類)ごとに、主な施設種類や方針を記載しています。
詳細については「石巻市公共施設等総合管理計画」をご確認願います。

○○施設(←用途分類の大分類名称です)
(各大分類に含まれる主な施設種類の例示です)

●(マネジメント方針における「基本方針」や「管理に関する基本的方針」から主なものを抜粋して要約しています)